

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果(幡羅中学校)

○平均正答率

(単位%)

	国語A(知識)	国語B(活用)	数学A(知識)	数学B(活用)	理科
幡羅中学校	76	64	70	52	68
埼玉県(公立)	75	61	65	47	65
全国(公立)	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1

○質問紙調査より

* 質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

* 「している」「どちらかといえばしている」をあわせた値

(単位%)

	質問事項	幡羅中	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	95.5	92.6	91.9
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	79.4	77.5	74.2
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	93.3	91.2	90.3
	学校の規則を守っている	98.9	96.3	95.1
学習習慣	家で、自分で計画を立てて勉強している	61.2	56.9	52.1
	家で学校の宿題をしている	98.3	91.1	91.6
	家で、学校の授業の予習・復習をしている	78.2	60.3	55.2
	学校の授業以外に家で1時間以上勉強している(塾等含む)	74.3	74.2	70.6
教科への関心	数学の勉強は好きだ	69.8	54	53.9
	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	57.9	43.9	38.7
	数学の問題の解き方がわからないとき諦めず色々な方法を考える	81.6	72.8	70.3
	理科の勉強は好きだ	78.3	61.6	62.9
	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	62.6	49.9	45.4
	理科の授業で自分の考えや考察を周りの人に説明したり発表している	59.8	48	41.4
その他	自分にはよいところがあると思う	81.6	76	78.8
	将来の夢や目標を持っている	91	74.4	72.4
	人の役に立つ人間になりたいと思う	95.5	94.3	94.9
	今住んでいる地域の行事に参加している	57.5	44.9	45.6

○生徒質問紙 調査の結果「良かった点(○)」と「課題(●)」

- 将来に夢や目標を持ち、自分には良いところがあると思う生徒の割合が高い。
- 各教科への関心や意欲が全国と比較しても高い。
- 課題や宿題に粘り強く取り組み、生活習慣が整っている生徒の割合が高い。
- 自分で見通しを持ち、計画を立て自主学習に取り組む割合が比較的低い。
- 考えを伝え合ったり、学びを生活の中で活用や応用する割合が比較的低い。

○幡羅中の「良かった点(○)」と「課題(●)」

【国語】

- 漢字の読み書きを正しく行うことができる。
- 文章を読み問題に正しく答えることができる。
- 書く問題の意図を正しく読み取り、文章の構成や助詞に気をつけて作文する。
- 自分の意見を書いたり、文章の要約を行ったりする。

【数学】

- 数と式、方程式、図形において正答が多い。
- 確実に計算を進めたり、図形の基礎的な知識技能が身につけている。
- 式を利用した説明やグラフの読み取り、数や式を使った比較がよくできている。
- 関数や確率の誤答が多い。
- 文章から意味を理解し、進めることができない生徒が多い。
- 式の意味を問われる問題を苦手になっている。

【理科】

- 表やグラフから考えて答える問題については、比較的理解できている。
- 化学式や用語の定着が見られる。
- 考えを文章化する問題の正答率が低い。単語で解答してしまう場合が多い。
- 問題文の読み取りや理解ができていないと思われる解答が見られる。

○課題への取組・改善点

【国語】

- ・授業で、短文で意見をまとめる活動を作る。
- ・テンプレートを示し、意見を書いたり要約する作文の練習を行う。

【数学】

- ・ことばと式の間を深く理解できる活動を授業に取り入れたり、定期テスト問題で「読み・記述する」問題に触れる機会を増やす。

【理科】

- ・授業で実験レポートなど、深く考える場面を作り、考えを文章化する機会を増やす。
- ・定期テストで、実験方法や結果を読み取るような問題を増やしていく。